

順位	
議席 氏名	質 問 事 項
1	
7 番 橋 本 洋 一	<p>1. 地域協議会に対する諮問のあり方について</p> <p>(1) 旧師団長官舎の用途変更について、地域協議会に諮問する前に事業者募集の記事が掲載された広報上越が市民に配付された。「区域内の重要な公の施設の設置・廃止・管理のあり方に関することを決定・変更しようとする場合に市長から地域協議会に諮問を行う。」という条例の趣旨との整合性はどうか。</p> <p>(2) 過去に同様の事例はないのか。また、今後、公の施設の再配置計画や第三セクターの統廃合等の実施計画において、市長の意思決定が先行し、地域協議会への諮問が後になるケースが出てくることが懸念されるが、どうか。</p> <p>2. 類似の用語が使われている組織名の整理と解説について</p> <p>(1) 当市の事務分掌や公用文に「地域包括支援センター」、「すこやかなくらし包括支援センター」、「こども発達支援センター」、「ふるさと暮らし支援センター」など類似の名称・用語が多く使用されている。市民に分かりやすいように用語を整理し、業務内容の説明資料を作成するなどの工夫が必要なのではないか。</p> <p>3. 広報上越の発行回数見直しと掲載内容について</p> <p>(1) 令和2年度から広報上越の発行回数を月2回から1回にするとのことであるが、見直しの経緯と掲載内容の整理の方向性について聞きたい。</p> <p>4. 児童生徒の登下校時の安全対策について</p> <p>(1) 新潟市における女子児童殺害・死体遺棄事件から1年7か月が経過した。この事件を契機として本市がとった対策とその後の状況、今後の課題について聞きたい。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
2	<p>1. 新野球場建設について</p> <p>(1) 上越市野球協会は9月17日「新野球場早期建設への集い」を開催し、1万人以上の署名を集め、11月に市に提出するとしていたが、その状況について確認したい。また、これを受けての今後の市の対応について聞きたい。</p> <p>(2) 昨年10月15日、市に対し野球協会が早期建設を求める要望書を提出した。要望を受け、市長は所管の市教育委員会に検討を指示したが、この間の検討状況等を聞きたい。</p> <p>(3) 高田公園野球場においては、過去3度にわたり改修工事が行われた。新野球場建設は、こうした経緯も踏まえた市民の理解が不可欠と思われるがどう対応していくのか。また、建設に当たっての事業費は概算でどのくらいなのか聞きたい。</p> <p>(4) 将来にわたって高田公園野球場の在り方については、どのような計画でいるのか聞きたい。</p> <p>2. 上越市市有財産遊休地について</p> <p>(1) 市有財産は、優先的に商品化(商品化済みを含む。)する財産と、希望に応じて商品化する財産などについて公表されているが、現状の売却推移等について、以下の質問について聞きたい。</p> <p>ア 市有財産の売却の状況はどのようになっているか。</p> <p>イ 現状を踏まえ、市としての今後の対応についての考えを聞きたい。</p> <p>ウ ヨーデル金谷に隣接する市有地について、市の施設用地として活用できないのか考えを聞きたい。</p>
順位	質 問 事 項
議席 氏名	
3	<p>1. 県立武道館の有効活用について</p> <p>(1) 県立武道館を始め、上越総合運動公園を中心とした戸野目古新田の経済効果の上がる地域全体の開発についての考えを聞きたい。</p> <p>(2) 謙信公武道館が12月1日に完成し、上越市に武道教育の殿堂が落成した。そこで、当市の学校教育、生涯教育の観点から武道教育の在り方、進め方、武道のまち上越への旗揚げの機会でもあり、力強い文武両道教育が求められていると思うが、教育委員会としての決意を聞きたい。</p> <p>2. 上越魚沼地域振興快速道路の進捗状況について</p> <p>(1) 地域高規格道路上越魚沼地域振興快速道路の進捗状況及び上越市の取組状況について聞きたい。</p> <p>3. 社会教育の在り方について</p> <p>(1) 社会の価値観も全てが複雑化する中で、社会教育の重要性が問われると思うが、当市の教育の責任者である教育委員会として、社会教育の現状と、その在り方についての考えを聞きたい。</p>
30番 永島 義雄	

順位	
議席 氏名	質 問 事 項
4	
20 番 杉 田 勝 典	<p>1. 当市の新年度予算編成方針について</p> <p>(1) 令和2年度予算編成方針において、歳出超過の収支構造の改善に取り組むとしているが、令和2年度から本来の一本算定へ移行し、行政運営の更なる効率化が求められる中、各種事業の優先順位をどう考えるか。</p> <p>(2) 県の歳出削減の動向を注視するとしたが、現時点で県との関連で最も影響を憂慮する具体的な事業や分野、それに伴う事業の削減について、どう捉えているか。</p> <p>2. 消費税引上げ後の動向について</p> <p>(1) 消費税引上げ対策のプレミアム付商品券の販売状況はどうか。また、住民税非課税者の申請状況はどうか。</p> <p>(2) 消費税引上げ対策としてのキャッシュレス決済導入の現状とキャッシュレス決済普及の今後の見通しをどう捉えているか。</p> <p>3. SDGs(エスディージーズ)推進条例の制定について</p> <p>(1) 国連加盟国が2030年の達成を目指す経済、社会、環境などにおける諸問題の解決を目指す持続可能な開発目標、SDGsの理念を踏まえ、市民や行政、民間企業などが相互に連携し合い、地域社会の課題を解決する「持続可能なまちづくり」を目指すため、SDGs推進条例を制定してはどうか。</p> <p>4. 市内の中小企業支援について</p> <p>(1) 「上越市地域中核企業成長促進協議会」を新たに設置し、中小企業の支援体制を含む基本計画の策定を行うとしているが、選ばれる「中核企業」の基準、支援内容や目指すべき成長の在り方などについてどう考えているのか。</p>

順位	
議席 氏名	質 問 事 項
5	<p>1. 当地域(市)における今後の医療体制について</p> <p>(1) 厚生労働省から「診療実績が乏しく、再編・統合の議論が必要な病院名」、また県立病院経営委員会から「県立病院の役割・あり方に関する提言」が相次いで公表された。これを受けて当地域(市)における医療体制への影響はどうか。</p> <p>(2) 現在、地域医療センター病院の改築に向けて作業が進められているが、厚生労働省の公表を受け、病床規模や診療機能等について見直しを考えているのか。</p>
2 番 牧 田 正 樹	<p>2. 市職員の人員態勢と時間外勤務の縮減に向けた取組について</p> <p>(1) 市職員の時間外勤務の状況について過去3年間における月45時間超、月80時間超の職員数を聞きたい。また、時間外勤務の推移についてどのように捉えているか。</p> <p>(2) 時間外勤務の縮減に向けてこれまで様々な取組を行っているが、時間外勤務が縮減されていないとすれば、取組の柱である「業務量に見合った人員配置」がなされていないのではないかと考えるがどうか。</p> <p>(3) 「災害に強い上越市」の視点での市職員の人員態勢について、以下の点を聞きたい。</p> <p>ア 職員の削減が「災害時の対応の弱さ」に影響していると言われている。「台風19号の対応時」に、市内全域で開設した避難所にどのくらいの人員が当たったのか。</p> <p>イ 災害時は早期の避難所開設が必要だが、市が責任をもって対応するためには、避難所に精通する正規職員がいることが望ましいと考える。この間の人員削減により、災害対応に支障は出ていないか。</p>

順位	
議席 氏名	質 問 事 項
6	<p>1. 新野球場の建設について</p> <p>(1) 謙信公武道館のオープンとアクセス道路の整備が進む上越総合運動公園に新野球場の建設を、という陳情書が上越市野球協会から提出され、今年11月には3万人の署名も提出されたが、その実現に向けての検討状況はどうなっているか。</p>
21 番 栗 田 英 明	<p>2. 市立高田幼稚園の在り方について</p> <p>(1) すでに学校運営協議会が設置され、学習指導要領で示されている「社会に開かれた教育課程」実現に向け進み始めている。市内に市立幼稚園は高田幼稚園しかないことから、「地域」の定義が難しくなっている。高田幼稚園が連携・協働していく地域とは、上越市全域と考えてよいのか。</p> <p>(2) 幼児教育の無償化に伴い、私立の幼稚園との利用料格差は解消された。各幼稚園と同様、園の特色をアピールして園児募集をすべきと考えるがどうか。また、通園用の幼稚園バスの運行も図るべきと考えるがどうか。</p> <p>3. 公共工事の発注に関して</p> <p>(1) 品確法では、価格以外の多様な要素が考慮された入札や契約がなされることが公共工事の品質確保につながるとされているが、上越市では現在どのような対応をとっているか。</p> <p>(2) 品確法の改正では、予定価格には法定福利費等も反映させるよう方針が示されているが、上越市の対応はどうか。</p> <p>(3) 施工時期の平準化については上越市も繰越明許費の活用を視野に入れた仕組みを積極的に進める方向と考えてよいか。</p> <p>(4) 災害対応を担う地元業者育成のため、受注機会の確保がなされているのか。</p>

順位	
議席 氏名	質 問 事 項
7	
22 番 飯 塚 義 隆	<p>1. 保倉川放水路の整備促進について</p> <p>(1) 国では、本年3月に放水路の概略ルート帯を公表し、併せて現地確認の作業等に着手した。事業の進捗状況について聞きたい。</p> <p>(2) 放水路整備事業は、沿川住民の苦渋の選択により一定の理解を得た事業で、かつ、近年の降雨状況を見ると放水路整備の遅れは許されない。早期事業化に向けた市の取組を聞きたい。</p> <p>2. 浸水被害の軽減対策について</p> <p>(1) 近年、異常降雨による排水樋門の閉鎖とそれに伴う浸水被害が多く発生している。これら被害に対して雨水管理総合計画に基づきどのように対応していくのか。また、これら浸水被害の軽減に国や消防頼みではなく、市においても移動式ポンプ車を購入するなど積極的な対策が必要でないか。</p> <p>3. 道田川の河川改修について</p> <p>(1) 市が管理する道田川は、一部区間が素掘りの掘り込み河道であるが、その上流部は、ほ場整備事業が採択され整備が図られる。前回の一般質問の答弁で市の管理区間の整備方針等を検討するとしているが、現在の状況を聞きたい。</p> <p>4. 国が示した公立・公的病院の再編統合について</p> <p>(1) 国では、高度な医療の診療実績が少ない病院や近隣に機能を代替できる民間病院がある病院について、「再編統合について特に議論が必要」と位置付け、上越地域医療センター病院を含む県内22病院を「再検証要請対象」として公表した。この国の方針をどのように受け止めたか聞きたい。</p> <p>(2) 新聞報道によれば、国では再検証の期限を、再編統合の見直しをしない方針であれば年度内に見直さない理由を求めており、見直す場合は来年9月末までに延長するとのことである。市はどう対応するのか聞きたい。</p> <p>(3) 上越地域医療センター病院の医療方針や役割に変化はあるのか。また、今後建設を予定している病院施設に影響があるのか聞きたい。</p>

順位	
議席 氏名	質 問 事 項
8	<p>1. 金谷山公園の整備について</p> <p>(1) 市民団体「金谷山さくら千本の会」が20年近くにわたって山桜の植樹、雪割草の植樹、山道の整備、緑の少年団や小学校の子らとの共同植樹などを行ってきた。数々の賞を受賞するなど、その活動は高く評価されてきたが、会員の皆さんの高齢化により、将来的にこれまでどおりの活動を続けることが難しくなることが予想される。これから先、市として金谷山公園の整備をどのように行う考えか。</p>
13 番 滝 沢 一 成	<p>2. 災害対策について</p> <p>(1) 先の台風19号での市の迅速な対応を評価するが、避難勧告、避難指示(緊急)の情報の後、市民はどう行動し、避難は順調に進んだのか。また、市として何か課題を得たか。</p> <p>(2) 市からの災害関連情報の発信にSNSを活用する考えはないか。</p> <p>(3) 避難勧告等の避難情報を発令する際には、対象地域をより細かくして発令すべきではないか。</p> <p>(4) 地球温暖化などの影響により、これからこうした災害が増えると予測される。高齢者など災害避難時の健康が懸念される方が多くいる中、避難所のケア体制をさらに整える必要があるのではないか。</p> <p>3. 外国人の子どもの未就学問題について</p> <p>(1) 日本の憲法は「国民」に対して子どもに小中学校の教育を受けさせる義務を課しているが、外国人の保護者は「国民」には当たらないため対象外である。国は国際人権規約を踏まえ、外国人保護者が望めば子どもを日本人と同様に公立の学校で受け入れるとしているが、上越市は教育先進市としてどう考えているか。</p>

順位	
議席 氏名	質 問 事 項
9	<p>1. 幹部職の必要性について</p> <p>(1) 厳しい財政状況を踏まえ、第三セクターの存廃、事務事業の見直し、公の施設の統廃合等、市民に多大な我慢を強いらせている。令和元年6月議会の一般質問で、副市長2名体制、理事、教育次長、ガス水道事業管理者の必要性を質した際の回答は納得のいくものではなかった。このため、令和元年9月議会の一般質問で行財政改革の再質問の際に、幹部職(4職種)の設置を必要とする矛盾点等を示したが、時間が無く回答を聞けなかった。設置しなければならない職務ごとの客観的かつ具体的な必要性を聞きたい。</p>
3 番 丸 山 章	<p>2. 事務事業の見直しについて</p> <p>(1) 令和元年11月に事務事業評価の結果について実施年度等を加え改めて公表され、1,408事業中、廃止が25、見直しが203となったが、関係団体等への説明を十分尽くし、説明責任を果たしたのか。また、意見や要望等の集約の状況を聞きたい。</p> <p>(2) 各区に総合事務所を置く目的と求められる機能、行政サービスの考え方について聞きたい。</p> <p>(3) 総合事務所時間外受付等の見直しで、市民の安全・安心に影響を及ぼす施策を進めようとしているが、今後の総合事務所の在り方をどのように考えているのか。また、上越市過疎地域自立促進計画の自立促進の基本方針の中で、「過疎地域は、安全な食料の国内自給機能、国土の保全、文化の伝承、地球温暖化防止等の多面的・公益的な役割を有しており、それらの地域の維持は、本市の持続可能性を確保していく上で、必要不可欠である」としている。しかし、今回の見直しは逆行した施策となっている。合併しなかった町村との比較で、合併した旧町村の方が人口の減少が進んでいるとの報道もあるが、住み続けられる中山間(過疎)地域づくりについて、今後どのような方向(姿)に導こうとしているのか聞きたい。</p> <p>(4) 防災行政無線の取扱いについて、火災発生情報、クマ出没注意喚起、地域づくりにおける各種イベントのPR・雨等による中止の周知、雪等による公共交通の遅延運休情報など防災行政無線を活用する上で、今の組織体制では課題を抱えることになるにもかかわらず、総合事務所長の判断に任ずとしているが、これでは各区等しく行政サービスを受け難い上、あまりに無責任である。さらに、今後、総合事務所に地元出身者が少なくなったり、いなくなったりする場合、土・日の不在、夜の飲酒後に案件が発生した際、すぐに対応できないことは十分想定できる。これで、地域づくりへの支援、市民への安全・安心に影響が出ないのか聞きたい。また、総合事務所長に責任を持たせるのであれば、行政サービスが低下しない適宜適切な対応ができるよう、統一したマニュアルを担当課で作成することが重要と考えるが、どうか。</p> <p>(5) 現在、剪定枝特別収集は春・秋2回行われ、多くの剪定枝が搬出されているが、今回の見直しでこれを廃止し、全ての市民がクリーンセンターへ運ぶことを余儀なくされる。しかし、当市は広い市域を有することから、各区、特に中郷区・柿崎区・大島区等の町内会からクリーンセンターまでの距離はたいへん長く、27~30 kmに達する。市政における計画等で公平・公正を示しながら、こうした地理的不利な条件下に位置する市民に多大な不便を強らせることは、市政運営上、不公平・不公正極まりない施策になる。地方自治体の一番の存在意義は、そこに住む人々の生活を支えることである。このような市政運営がまかり通って良いのか、聞きたい。</p>

順位	
議席氏名	質 問 事 項
10	
17番 大島洋一	<p>1. 上越ものづくり振興センターの現状と今後について</p> <p>(1) 平成21年11月に開設されてから丸10年経過したが、どのように総括しているか。特に、技術力向上、新産業育成、人材育成、販路開拓への支援について、どのように考えているか聞きたい。また、今後、上越ものづくり振興センターの更なる充実強化が必要と思うが、考えを聞きたい。</p> <p>2. 治水対策について</p> <p>(1) 近年の水害の状況に鑑み、保倉川放水路の整備が急がれるが、現状と今後の予定はどうか。</p> <p>(2) また、内水対策について、雨水管理総合計画による早期整備箇所数を増やして対策を急ぐべきと考えるが、どうか。</p>
順位	
議席氏名	質 問 事 項
11	
15番 橋本正幸	<p>1. 国民健康保険税について</p> <p>(1) 国民健康保険税は、均等割と平等割があるため、被用者保険と比べて所得の低い層ほど負担が重い「逆進性」になっているのではないかと聞きたい。具体的な所得に対する国保税額を聞きたい。</p> <p>(2) 税は、その所得に応じて賦課するという大原則を踏まえ、均等割と平等割は廃止し、所得割のみにすべきではないかと聞きたい。特に、子どもにも一律的に賦課される均等割については、全国知事会も国に見直しを求めているほか、全国的にも減免を実施している自治体が増えている。当市でも、少なくとも均等割の減免を考えるべきではないのか。</p> <p>2. 市役所木田庁舎正面玄関の思いやり駐車場について</p> <p>(1) 市役所木田庁舎正面玄関の思いやり駐車場に屋根を付けて欲しいとの要望がある。この要望に応えるべきと考えるがどう対応するのか。</p>

順位	
議席氏名	質 問 事 項
12	
31 番 橋 爪 法 一	<p>1. 公立・公的病院について</p> <p>(1) 「新潟県地域医療構想」では、策定の目的を「2025年に向け、患者の状態に応じた、質の高い医療を効果的に提供する体制を確保する」、「病床数の削減を前提とするのではなく」、「各地域の実情に沿った、医療・介護サービスの提供体制の充実を図る」としている。現在、「構想」で述べている目的に沿った議論が必要と考えるが、市長はどう考えているか。</p> <p>(2) 公立・公的病院の再編統合は、住民が地域で住み続けられるかどうかの問題だと思うが、市長の認識はどうか。</p> <p>(3) 公立・公的病院の在り方については関係自治体の自主的な判断が求められる。関係自治体と共同し、厚生労働省主導の進め方に抗議すべきではないか。</p> <p>2. 消防に関することについて</p> <p>(1) 消防団の組織体制、消防訓練及び行事の見直しを順次実施するとしているが、消防訓練及び行事の見直しの項目、実施時期など全体像を聞きたい。</p> <p>(2) 消防器具置場、消防備品の計画的な更新・整理を行うとのことだが、計画はどのように進めていくのか。その概要を聞きたい。</p> <p>3. 経済対策について</p> <p>(1) 地域経済活性化店舗等改装促進事業補助金を令和2年度末で廃止するとしているが、「消費税率引き上げ後の市内経済の動向にもよるが」という条件を付けている。具体的にどういう状況になれば廃止するのか。また、「より効果的な制度を検討」とのことだが、その制度設計はどう考えているのか。</p> <p>(2) 住宅リフォーム促進事業についても、「一定の経済状況であれば」という条件付きで、令和2年度末をもって廃止するとしている。具体的に、どういう経済状況になれば廃止するのか。なんとか存続できないか。</p>
順位	
議席氏名	質 問 事 項
13	
27 番 上 野 公 悦	<p>1. えちごトキめき鉄道の運賃値上げと支援スキームなどについて</p> <p>(1) 当初合意された国の支援スキームの拡充を国へ求めるべきではないか。また、関係市と県の新たな支援スキームについて、どのような検討をされているのか。</p> <p>(2) 現行運賃の維持を働きかけるべきと思うがどうか。</p> <p>(3) えちごトキめき鉄道と住民・利用者との良い関係性を構築すべきと思うがどうか。</p> <p>2. 災害対策について</p> <p>(1) 全国各地で大きな被害をもたらした今年の台風被害から何を学んだか。</p> <p>(2) 市内の1級及び2級河川の氾濫を防ぐ対策はどこまで進んでいるか。</p> <p>(3) 上越市の水害時において、市民の確実な避難行動に繋げるため、避難情報の発令の仕方等を見直す考えはないか。</p>

順位		
議席 氏名	質 問 事 項	
14		
10 番 石 田 裕 一	<p>1. 上越市における「関係人口」の取組について</p> <p>(1) 地域や地域の人々と多様に関わる「関係人口」が注目されている。上越市における人口減少や少子高齢化に対し、中山間地域や中心市街地を元気にするような地域を担う人材の確保に向け、「関係人口」の人との関わりと拡大が重要と考える。今後の取組についての市の考えを聞きたい。</p> <p>2. 中山間地域の今後について</p> <p>(1) ここに来て中山間地域の施設の廃止、事業の見直しが加速している。「上越市中山間地域振興基本条例」では、第1条において、その目的を「中山間地域の振興を総合的に推進し、もって市民が安全に安心して住み続けることができる地域社会の実現を図ることを目的としています。」としている。この条例を踏まえ、市は地域住民の声を聞いて中山間地域振興に努めているか。</p> <p>(2) 中山間地域における各総合事務所の時間外受付の体制の見直しは、今後の「総合事務所の廃止や統合」に向けての助走なのか、市の考えを聞きたい。</p>	
順位		
議席 氏名	質 問 事 項	
15		
5 番 山 田 忠 晴	<p>1. 当市における運転免許証自主返納者への対応について</p> <p>(1) 近年、運転免許証を自主返納する高齢者が増えている。当市では、どのような件数で推移しているか。</p> <p>(2) 自主返納後は、公共交通機関等の利用が主となると思われる。返納を判断する前に公共交通機関を利用した移動を経験することが大切と考えるが、市の取組はどうか。</p>	

順位	
議席 氏名	質 問 事 項
16	
18 番 渡 邊 隆	<p>1. 高田公園沿道の電線地中化と公園周辺の課題について</p> <p>(1) 平成24年12月議会一般質問で提案した、県道高田停車場線の中央橋から上越地域振興局間の電線地中化について、市は県に対し要望しているがその後の経過状況を聞きたい。</p> <p>(2) 高田スポーツセンター付近から県上越地域振興局前の交差点までの新たに切り替える路線の沿道も高田公園の景観を考慮し、電線地中化を視野に入れるべきと考えるがどうか。</p> <p>(3) 県振興局前の交差点付近に、新たに大手の喫茶店が来春に向けオープンすると聞くが、県の駐車場も併設されている現状の交差点の車線などに支障が出るのではと考える。交差点を大きく改良すべきと考えるがどうか。</p> <p>(4) 高田公園沿線の景観形成から電線地中化に関し、県道と交差する都市計画道路北城町東城町線の交差点における北側隅切を景観上今後どのような様にするのか考えを聞きたい。</p> <p>2. 災害時におけるペットの同伴避難について</p> <p>(1) 以前にも同様の質問をしているが、災害が長期化した場合において、指定避難所に同行避難したペットは、一般の避難所での生活には限度があると考え。飼い主と共に室内で生活できる環境の避難所を設定し、事前に周知するべきであると考えがどうか。また、質問した後、どう検討したか聞きたい。</p> <p>(2) 立地も考慮したそのような避難所として、例えば、旧小猿屋小学校を利用できないか。</p>
順位	
議席 氏名	質 問 事 項
17	
9 番 田 中 聡	<p>1. 高齢化社会における町家の現状と課題について</p> <p>(1) 今後のまちづくりを考えたときに、古い町家についてどのように考えているか。</p> <p>(2) 古い町家特有の不便さが原因で、まちなかから離れざるを得ない高齢者が増えてくると予想されるが、これまでどのような支援策を行ってきたか。</p> <p>(3) 高齢者が古い町家に住み続けるためには、寒さ対策や採光・通風、階段や段差の対策など、多くの技術的課題を克服する必要がある。支援体制を強化する考えはないか。</p> <p>2. 買物弱者対策支援について</p> <p>(1) 経済産業省では、人口減少や少子高齢化等を背景とした流通機能や交通網の弱体化等の多様な理由により、日常の買物機会が十分に提供されない状況に置かれている人々、いわゆる「買物弱者」への対策が必要としている。当市においても高齢者を中心に、日常の買物に困るとの要望が増えており、この問題は今後更に深刻化するのではないか懸念されるが、当市において「買物弱者問題」への対策についてどのように考えているか聞きたい。</p>